

むくのきだより 4月号



令和4年4月7日

港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子



ご入園・ご進級 おめでとうございます

園長 中村 美奈子

春の風に森の小路の花々がゆれ、入園・進級した子供たちを祝っているようです。お子様のご入園・ご進級、おめでとうございます。

私は、宮崎直人 前園長が港区立芝浜小学校に転任したことに伴い、稲城市立若葉台小学校より着任しました。これまで2つの小学校で校長を務めてまいりましたが、幼稚園は併設されていなかったため、園長となるのは初めてです。これまで培われてきた赤羽幼稚園の教育のよさを継承するとともに、渋谷区の教育委員会に勤めていた折に幼稚園・保育園・小学校との連携事業や幼児教育に携わっていた経験を活かし、教職員と共に力を尽くしてまいります。

令和4年度の赤羽幼稚園は新入園児を迎え、4歳児年少さくら組18名、5歳児年長ゆり組18名、全園児36名でスタートしました。

赤羽幼稚園の教育目標は、次の3つです。

- 「やさしい子」……人や自然を愛し、豊かな心をもつ子
- 「かんがえる子」…進んで考え、創意工夫する子
- 「げんきな子」……心も体も健康な、元気な子

入園・進級と、子供にとって環境が大きく変わる4月。

まずは、子供たちが安心して過ごせるよう環境作りに努めます。例えば、保育室や園庭など楽しい環境作り、教職員との温かい環境作り、新型コロナウイルス感染症対策を含め安全な環境作りを行います。

そして、子供たちが生活や遊びの中で、「不思議だな」「面白いな」「やってみたいな」と芽生えた思いを大切にし、主体的な活動につながるように教職員が支えます。幼稚園教育要領にも「幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である」とあります。遊びには、夢中になって試行錯誤する姿、自分の思いを言葉で伝えようとする姿、友達と楽しい思いや悲しい思いを共感する姿、友達と折り合いを付けながらルールを作ったり守ったりする姿など、様々な姿が見られます。これらの機を捉え、教職員が学びにつなげます。

幼児期の子供の健やかな成長のためには、幼稚園と家庭との連携も重要です。昨年度よりもさらに連携を深め、教育活動に活かしたいと考えています。また、幼児期に様々な人と、温かな関わりをもつことが社会性を育むために大切なことから、地域の皆様のお力添えをいただけたら幸いです。保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

